

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

～ チームワークについて～

1. 事例

- S 社：日本政策金融公庫への資本性劣後ローンの申し込み
 - ・財務 DD で大幅な実態債務超過発覚。
 - ・メイン行からの提案で、コロナ対策資本性劣後ローンによる資金調達。
 - ・お客さまが公庫の担当者と同面談した際に「みらいさんなら大丈夫ですね」と言われたとのこと。信頼感がより高まったと感じた。
 - ・今まで公庫との間で信頼と実績を積み上げてきてくださった諸先輩のおかげ。
- A 社：計画策定
 - ・もともとは資本政策案件として関与
 - ・計画策定の必要性が生じ、アサインされる。
 - ・短納期での計画策定となり、資料の作成および提供にお客さまの負担も大きいはずだが、終始好意的に接して頂いた。
 - ・資本政策プロジェクトでの関与の仕方で、いい雰囲気や信頼感をつくってもらった。

2. 2 種類のチームワーク

- 1 一緒に関与しているメンバーへの感謝と貢献（共時的）
 - ・案件を進められたのは、周りのみなさまのおかげ
 - ・MC メンバー、金融機関、お客さま
- 2 前後に関与した / するメンバーへの感謝と貢献（通時的）
 - ・前のフェイズと次のフェイズを意識：感謝と貢献
 - ・いいパスをもらったので、自分も今後いいパスを出したい。
 - ・前提条件（文脈）の理解（他メンバーから自分へ）と構築（自分から他メンバーへ）が必要
：他部門の業務の理解と自分の業務を理解してもらう努力。